

## ●鎌倉市本庁舎整備方針市民対話（第2回）を開催しました。

鎌倉市は平成28年度末までの本庁舎整備方針の策定をめざし、取組を進めています。

### ■鎌倉市本庁舎整備方針市民対話（第2回）

市民目線や市民感覚を取り入れた「本庁舎整備方針」策定をめざし、本庁舎の現状と課題を共有するとともに、具体的に本庁舎に求められる機能・サービスをはじめとする、本庁舎整備とまちづくりなどを考える上での「大切な視点」について、市民の皆様の多様な意見を伺う市民対話の第2回を開催しましたので、その概要をお知らせします。

### ■開催概要

第2回市民対話では、本庁舎のあり方を考えるうえでの「大切な視点」について、参加者に3つのテーブルに分かれて対話をいただいた後、参加者全体で対話の総括を行いました。

日時 平成28年9月3日（土）

9時30分～12時00分

会場 鎌倉市役所第4分庁舎2階 822会議室

参加者 市民対話メンバー9人

次第	オープニング	市長挨拶
	グループ対話(1)	地域の特性の視点 機能・サービスの視点 防災・安全・安心の視点
	グループ対話(2)	同上
	全体対話	本庁舎に求めること
	クロージング	次回以降の進め方



オープニングの様子



グループ対話の様子

### ■グループ対話の主な内容

3つのテーマについて、グループ対話参加者を入れ替えながら、本庁舎に対する多様な考え方や感覚を共有しました。

#### 1. 場所性・景観・歴史・文化など地域の特性の視点

多くの市民にとって、本庁舎はさほど身近な場所ではない

- ・「私には関係ない場所」「年に1回行くか行かないか」

御成という場所には意味合いがある（鎌倉の象徴性）

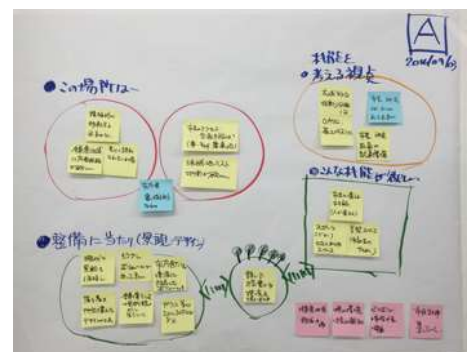
- ・「長らく認知されている場所」「鎌倉の中心である」

整備にあたっては、緑豊かな環境と景観を活かしてほしい（環境との調和）

- ・「ガラス張りや20-30階建てというのは、この場所にはそぐわない」

整備するのであれば、新しい機能も考えてほしい（市民の集える・使える場）

- ・「市民が集える機能がほしい」



地域の特性の視点のまとめ

## 2. 機能・サービスの視点

現在の市役所には、あまり良い印象がない

- ・「暗い」「私には関係のない場所」

これからの市役所には、違う意味合いや機能をもたせてほしい

- ・「困った時に、とりあえず訪れられる場所であってほしい」

サービス拠点は近くにあってほしい（集中と分散のバランス）

- ・「すべてが一箇所に必要はない」  
「各地区にワンストップ・サービスがあると良い」

働く環境としては、大いに改善の余地がある

- ・「職場環境が悪すぎる（本庁舎を見学しての感想）」

外国人観光客から見て、魅力ある場にならないか

- ・「鎌倉にはブランドはあるが、2回目の訪問リピートがない」



機能・サービスの視点のまとめ

## 3. 防災・安全・安心の視点

災害時に必要な機能(1) 直後の「避難場所」

- ・「周りにいる観光客の逃げ場と対応も大切」

災害時に必要な機能(2) その後の「復興の司令塔」

- ・「事が起きた後に司令するのは本庁舎」

通常時に求めることは分散化と

ワンストップ・サービス

- ・「鎌倉は横須賀線だけでアクセスも良くない」  
「各地のワンストップ機能は大切」

災害への不安は本庁舎だけでは解決しない

- ・「地域の避難場所は知っている」「ビルに人が殺到する危険がありそう」

未来の本庁舎に考えたい、求めたいことは多様

- ・「『市庁舎のない市役所』でもいいのではないか」



防災・安全・安心の視点のまとめ

## ■全体対話

グループ対話で出た意見の発表後、今後の市民対話のテーマについて全体で対話の総括を行いました。

## ■今後の進め方

これまでの対話を基に、引き続き市民対話を開催していきます。さらに広く市民の皆様と一緒に本庁舎について考えていくため、市民対話メンバー及び公募の参加者による「協働・拡張ワークショップ」を開催する予定です。

### 協働・拡張ワークショップの概要

- 日時 10/10（月・祝） ④9時30分～11時30分（午前の部）、⑤13時～15時（午後の部）
- 会場 鎌倉市役所第3分庁舎1階講堂
- テーマ ④午前の部：「未来の本庁舎にあなたが求めるものは何ですか？」  
⑤午後の部：「現在の本庁舎の場所にあつたらいいと思うものは何ですか？」